

要 約

m-ニトロアニリンの48時間急性遊泳阻害試験をオオミジンコ (*Daphnia magna*)を用いて実施した。

試験は、1試験区20頭を用い、5濃度区[設定濃度:10.0、7.14、5.10、3.64及び2.60 mg/L(公比1.4)]及び対照群、水温20±1℃、試験液を交換しない止水式で行った。

その結果、測定した試験液中の被験物質濃度は、設定濃度の97.6～98.7%の範囲に維持されていた。試験結果は測定濃度の時間加重平均値(前述の設定濃度を測定濃度表示にした場合、9.78、7.02、5.01、3.56及び2.56 mg/L)に基づいて算出した。

その結果、*m*-ニトロアニリンの24時間EC50(半数遊泳阻害濃度)は>9.78 mg/L、48時間EC50は9.08 mg/Lであった。

48時間における100%遊泳阻害最低濃度は、本試験の濃度範囲からは得られなかった。また、0%遊泳阻害最高濃度は7.02 mg/L、NOEC(最大無影響濃度)は3.56 mg/Lであった。